

■ ディフェリン恐るべし！

ニキビの新治療薬として1992年にフランスで開発されたアダパレンジェル(商品名:ディフェリンジェル)が保険適用となったのは昨年10月のことです。

ビタミンAの誘導体で、表皮細胞の異常で毛穴が詰まるのを防ぐ作用があるため、初期段階の白ニキビから、感染を起こしてしまった赤ニキビまで広く使用できます。

当院での約150人程の使用経験では、2人に1人が使い始めの2-3日でヒリヒリ感が出るものの、1-2週間でほとんど症状は無くなるといいます。発赤やかゆみがひどくなって使用を中止した人は30-40人に1人の割合です。使用を続けた人はほとんど改善し、治療を早く始めるほど、跡形を残さずに治すことができます。

ニキビで皮膚科を受診する人は約12%、そのうち治療に不満をもっている人は3割はいると言われています。ディフェリンの出現で患者さんの皮膚科受診率と治療満足度が上がるのを確信しています。

平成21年1月分原稿

はらクリニック院長 原 徹